

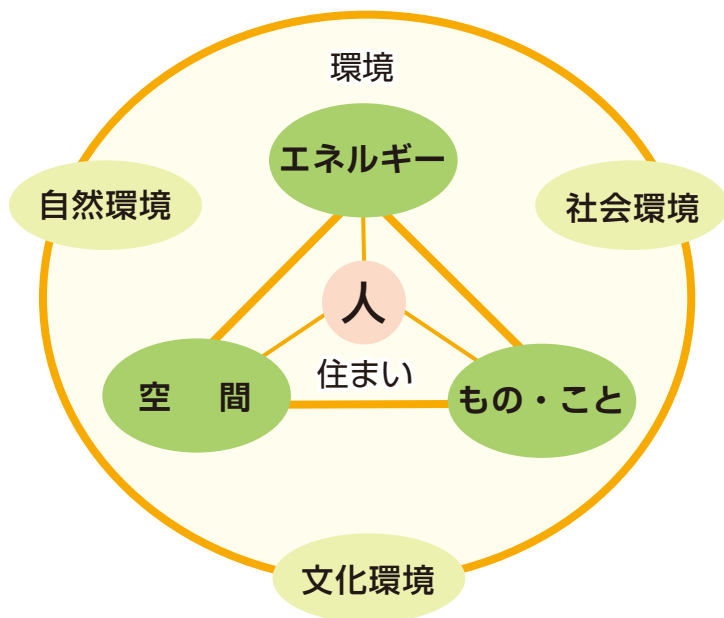
複数教科  
対応

# 住教育の 広がり

## ◆ 住教育の広がりを知り、視点を広げる

住教育は、私たちの【暮らし】から住まいを見つめます。住まいを文化として慈しむ気持ちを育て、より安全で豊かな住生活を送るための教育です。

制作：一般財団法人 住総研 住教育推進委員会



【住】関係性の広がり

## 住教育とは

「住む」ことは、人と人、人とのもの・こと、人と空間、人と環境など、さまざまな関わりの中で成り立っています。住教育では、このような関わりを学び、考え、実践することで、社会の中で多様な価値観と出会いながら、自らの住生活を創造し、夢や希望を実現していく力をつけることを目指します。

### 【住教育の魅力】

#### 人間関係を築くための コミュニケーション力がつく

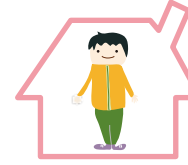
「住む」ということは、自分ひとりだけでは成り立ちません。家族と話し合ったり、多様な世代・価値観の人たちと交流したりしながら、互いに学び合うことができます。

#### 学びを活用する力、 自立的に生きる力が養われる

学んだことを、自分の生活として体験しながら学習を進めることができます。また、住まいの種類や選択肢などを学び、消費者としての意思決定力がつきます。

## 【住教育 4つの領域】

### 1 人と住まい

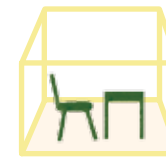


住まいの安全・安心、家族の語らいやくつろぎ・団らんなど、住まいの機能や構造、生活との関係を学習します。

#### 【具体的な内容】

- 住まいの機能
- 住まいの構造、建て方
- 住まいの変遷
- 住生活様式

### 2 住まいの空間と構成



人が住む器は、人体寸法が基本です。それに動作空間が加わることで、部屋と部屋をつなぐ原理があることなど、暮らしに対応した住まいの空間や構成を学習します。

#### 【具体的な内容】

- 人、もの、空間の寸法
- 部屋、住まいの規模
- 住まいの構成
- 仕上げと色彩



### 3 住まいと社会



住生活に必要なライフライン、地域の中での住まい、まちの良好な景観など、住まいと社会のつながりを学習します。

#### 【具体的な内容】

- 住宅水準、住宅事情
- 住宅の需要と供給
- 住宅政策
- 地域環境、まちづくり

### 4 住まいと環境



気候風土と住まい・住文化、環境と共生する住まい、そして住まいの維持管理のあり方を学習します。

#### 【具体的な内容】

- 住居の衛生、室内環境
- 住宅の性能、設備
- 環境と共生する住まい
- 住まいの維持管理

詳しくは、(社)日本住宅協会のHPまで。 → <http://www.jh-a.or.jp/contents/gekkan/jukyoku/index.html>

## 【住教育の広がりパネル 活用法】

### ① 住教育の広がりパネルとは？

住教育の広がりパネルは、小学校・中学校・高等学校の学習が、「住教育」とどのように関連しているかを図にしたパネルです。

### ② パネルの読み方

- 住教育の領域ごとに、学習する目的（ゴール）を設定しています。
- 学習の目的を達成するために、各教科で学んでおきたい学習内容を配置しています。
- 住教育は、上記の4領域に分かれています。

### 【パネル見本】



### ③ 活用法

住教育の広がりパネルは、さまざまなシーンで活用することができます。

- 住教育の広がりを感じることができる。
- 住教育を軸に、教科を横断した相互学習のヒントになる。
- 授業展開のヒントとして、生徒にとって身近な学習題材に気付く。
- 住教育と各教科の関連性を知ることによって、「身近な生活」が「住教育」と深く関わっていることに気付く。(子どもの興味関心を高める)